

宮城県抗体カクテル療法センターの設置について

- 抗体カクテル療法による早期治療を行うことで、重症者の発生を予防し、病床の効果的な運用を図ることを目的とする。
- 東北大学病院の全面的支援体制により実現

設置日

令和3年9月6日（月）

実施場所

宿泊療養施設（アパホテル〈TKP仙台駅北〉（仙台市宮城野区名掛丁201-1））

運営体制

役職	氏名（所属）
センター長	石岡 千加史（東北大学病院 副病院長）
副センター長	石井 正（東北大学病院 総合地域医療教育支援部 部長）
副センター長	高橋 昌宏（東北大学病院 腫瘍内科 医局長）
医療従事者	医師：東北大学病院、東北医科薬科大学病院、仙台医療センター、仙台市立病院、東北労災病院、県立がんセンターが輪番制で1名派遣 看護師：東北大学病院2～3名派遣 薬剤師：東北大学病院1名派遣
運営（事務）	宮城県保健福祉部新型コロナ調整室

受入体制

1日、最大16名に点滴治療（8名を2回転） ホテル2階に8台のベット設置

フロー

